

相良村保、小、中連携カリキュラム

目指す子ども像
ふるさとを愛し、自他を大切にできる心を持った子ども

【育ちをつなぐ視点】
 「基本的な生活習慣の定着」を図る 「人権を大切にできる心」を育む
 「ふるさと観」を育む 「勤労観・職業観」を育む

【保、小、中共通実践重点事項】
 「あいさつ」～えがおで明るく元気よく
 「早寝・早起き・朝ごはん」運動～くまもと早ね・早おきいきいきウィーク
 「8020」運動～むし歯防止と積極的な治療
 「メディアコントロール1H（ワンエイチ）」の取組

項目	園児（3歳～5歳）	小学生	中学生
家庭生活・学校生活リズムづくりの習慣化（基本的な生活習慣の定着）			
○あいさつ	親子で明るく声に出し、えがおで明るく元気よく		自らえがおでさわやかに
○早ね・早おき	早寝：午後9時頃まで 早起き：午前7時頃	早寝：（低中）午後9時頃 （高）午後10時頃 早起き：午前6時頃	早寝：午後11時頃まで 早起き：午前6時頃
○朝ごはん	○朝ごはん：午前中の活力源 ○排泄：トイレに行く習慣づけ		
○歯みがき	親子で仕上げ歯磨き・ブラッシングをていねいに・要治療者は、すぐに治療する		
○へんじ	はっきり大きく「はいっ」		
○メディア	村内一斉「メディアコントロール（スマホ・ゲーム等を控える）」原則：1日1時間以内 ＊各家庭で「使用のルール」を決める・家族団らんの時間を多くとる・読書の日		
自他とも大切にできる心を育む（人権を大切にできる心）			
○思いを伝える	「ありがとう、ごめんなさい」が言える	「ありがとう、ごめんなさい、すみません」等のこと自分から言える	「ありがとう、ごめんなさい、すみません」等のこと自分から言える
○相手の立場で	誰とでもなかよく遊び、自分や友だちを大切にする	自分の考えを持ち、相手の気持ちを考え、お互いのよさを認め合い、思いやりを持って行動する	自分の考えを持ち、お互いのよさを認め合い、思いやりを持って行動し共感する力やコミュニケーション力をつける
ふるさと「相良」を愛する心を育む（ふるさと観）			
○まちの一員として	・自然や地域の人と接することを喜ぶ ・散歩に出かけ相良の四季折々の自然に親しむ	地域の行事や地域への奉仕活動等に積極的に参加し、地域を知り、地域の人たちと交流する。	
○受け継ぐ	地域の行事に参加し、地域の人とふれあい相良村に愛着を持つ	伝統文化等を受け継いでいく	
体験活動等を通して勤労意欲を育む（勤労観・職業観）			
○積極的な体験活動	・生活の中で見たことを、ごっこ遊びの中で楽しむ ・遊びや行事の中から、色々な仕事に興味を持つ ・当番の仕事や人のお手伝い等を進んで行い、人の役にたっていることの喜びを味わう	働くことの大切さを知り、夢の実現へ向け希望を持ち、積極的に活動する	自己の特性と適性に気づき夢の実現へ向け希望を持ち、積極的に活動する
学ぶ力を育む（学力の向上）			
○学ぶ	・「親子読書（読み聞かせ）」を楽しむ ・人の話をしっかり聞ける ・自分の考えや思いを、人に話せる	・決めた時間になったら学習を始める ・学習は、毎日続ける ・音読や読書は、短時間でも毎日続ける	